

平成28年度 独立行政法人国立重度知的障害者総合
施設のぞみの園調達等合理化計画の自己評価について

「独立行政法人における調達等合理化の取組の推進について」（平成27年5月25日総務大臣決定）に基づき、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園は、事務・事業の特性を踏まえ、PDCAサイクルにより、公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組むため、平成28年度独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園調達等合理化計画を定めた。

調達等合理化計画に基づく平成28年度の調達に係る自己評価については、以下のとおりである。

1. 調達の現状と要因の分析

平成28年度の契約状況は、表1のようになっており、契約件数は51件、契約金額は4.4億円である。また、競争性のある契約は31件、3.8億円、競争性のない契約は20件、0.6億円となっている。

競争性のない随意契約については、前年度と比較すると件数及び金額とも増えているが、その内容については、20件中16件が平成27年度同様にライフライン（上下水道12件、ガス4件）であり、残りの4件については、官報掲載経費（財務諸表の公表）、PCB処分費（処分先が特定されているもの）等であることから当法人会計規程第33条第1項（契約の性質又は目的が競争を許さない場合）に基づくものである。また、サーバ等機器の購入については、当法人会計規程第33条第3項に基づく不落随契によるものであることから、真にやむを得ない理由によるものである。

次に、平成28年度の一者応札・応募の状況は、表2のようになっており、契約件数4件、契約金額0.2億円である。

一者応札等の詳細及び今後の改善策等については、3. 一者応札の契約名・要因等及び改善策で説明するものとする。

表1 平成28年度調達状況（全体）

競争入札等	企画競争・公募	競争性のある 契約（小計）	競争性のない 随意契約	合 計
29件	2件	31件	20件	51件
56.9%	3.9%	60.8%	39.2%	100.0%
3.7億円	0.1億円	3.8億円	0.6億円	4.4億円

表2 平成28年度一者応札状況

二者以上		一者応札		合 計	
27 件	87.1%	4 件	12.9%	31 件	100.0%
3.6 億円	94.7%	0.2 億円	5.3%	3.8 億円	100.0%

2. 重点的に取り組む分野

(1) 平成28年度においても、「一者応札・一者応募に係る改善方策」に基づき、複数の競争参加となるよう積極的に取り組んできたところであるが、今年度においては、一者応札が4件あった。今後も引き続き、一者応札・一者応募の解消に努めたい。

・平成28年度の実績内容

- ① 公告期間を10営業日から12営業日に延長
- ② 複数年契約の導入
- ③ 有資格業者への入札参加の勧奨

※ 平成27年度 一者応札：7件

(2) 障害者就労支援施設等からの優先調達

平成28年度の障害者就労支援施設等からの実績については、下記の表のとおりである。

平成29年度においては、園内行事等で障害者就労支援施設等から調達できる部門の検討を行い調達件数及び金額の増大を図るものとする。

平成28年度実績

件数	金額	備考
1件	365千円	野菜
2件	342千円	封筒・印刷

※(参考)平成27年度実績

件数	金額	備考
1件	238千円	野菜
1件	136千円	封筒・印刷

(3) 事務用品等に関する調達

事務用品及び消耗品等の購入については、平成28年6月23日に開催された「平成28年度第1回契約監視委員会」において、単価契約入札の審議を諮り、承認されたことから、平成28年11月に競争入札を実施し、業者(6社)と11月29日付けで契約を締結した。契約期間は、平成28年12月1日から平成30年3月31日までである。

今後も事務処理の効率化・簡素化及び経費の節減等が図れるものについて、検

討を行うこととする。取組結果については、次のとおりである。

- ・事務処理の効率化が図ることができた。
- ・事務用品等の単価が下がったことにより経費削減に繋がった。

3. 一者応札の契約名・要因等及び改善策

(1) 厨房機器（セルフクッキングセンター）購入契約

- ・契約金額 6,112,800円（平成28年11月10日契約）
- ・機器の老朽化による更新

【一者応札の要因】

特殊性のある厨房機器にもかかわらず、ホームページ及び管理棟事務所の掲示板のみの公告不足であったことが要因と思われる。

【改善策】

特殊性のある物品の製造等（工事関係は除く）については、入札参加資格を有する業者に直接連絡して、入札の参加を促すとともに、入札参加資格については、「競争参加者の資格等の取り扱いについて（方針）」の入札参加資格の指定に基づき、予定価格区分の上下等の等級を取り入れ、入札参加者資格を幅広くすることとする。

(2) 平成29年度廃棄物処理業務委託契約

- ・契約金額 4,892,400円（平成29年3月15日契約）
- ・園内で排出される廃棄物を収集・分別及び焼却処理等を行う業務。

【一者応札の要因】

人材不足（単年度契約による不安感等）、契約金額が安価であること（初期投資による回収が見込めない〈車両の準備等〉）などの理由によるものと思われる。

【改善策】

園内の廃棄物処理方法（焼却炉の使用）を見直すこととした。

焼却炉の耐用年数の超過による修繕費の増大やランニングコストの削減等を勘案し、第4期中期目標期間中に焼却炉の使用を廃止する方向で検討し、焼却炉を使用する期間において、契約方法等を見直すこととする。

(3) 平成29年度車両運転業務委託契約

- ・契約金額 3,499,200円（平成29年3月15日契約）
- ・利用者の送迎並びに移送及び車両管理業務。

【一者応札の要因】

有資格者の確保及び緊急時の対応が困難であること及び契約金額が安価であることが理由と思われる。

【改善策】

平成30年度以降も一者応札が見込まれることから、公告期間を延長す

るとともに、市内等近隣業者（緊急時に迅速な対応が可能であり有資格業者）に積極的に声掛けを行う。

また、契約内容・方法についても見直すこととする。

（４）ＣＩＯ補佐官等業務委託契約

- ・ 契約金額 5,184,000円（平成29年3月15日契約）
- ・ 独立行政法人の業務・システム最適化実現方策に基づき配置。

【一者応札の要因】

平成28年度が初めての取り組みであったことから、公告等が浸透されていなかったと思われる。

【改善策】

他の独立行政法人等から情報提供を受け、競争参加資格を要する業者等に積極的に声掛けを実施する。

4. 調達に関するガバナンスの徹底

調達に関するガバナンスの徹底については、新たに随意契約を締結する案件については、理事会において承認を得た。

また、入札に付そうとする建設工事、測量・建設コンサルト等業務について、入札談合に関する情報等に対する的確な対応を行うため、国立重度知的障害者総合施設のぞみの園「公正入札調査委員会」設置方針を平成28年7月15日に制定した。今年度において、委員会を開催する案件はなかった。

5. 推進体制

調達等合理化計画の推進にあたっては、各事項を着実に実施するため、理事（総括、人事、事業企画局担当）を総括責任者とする調達等合理化検討会を年2回開催し、競争性のある調達については、事前点検を実施した。なお、新たな随意契約となる調達については、理事会において説明・報告し承認を得た。

また、監事及び外部有識者で構成する「契約監視委員会」を年2回開催し、新規契約案件の審議及び事後点検結果報告等を行い、その審議結果については、ホームページで公表した。